

「到達目標及び目標到達の確認指標」

	到達目標		目標到達の確認指標
1 使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に対する使命感や情熱を持ち、常に子供から学び、共に成長しようとする姿勢が身に付いている。</li> <li>・高い倫理観と規範意識、困難に立ち向かう強い意志を持ち、自己の職責を果たすことができる。</li> <li>・子供の成長や安全、健康を第一に考え、適切に行動することができる。</li> </ul>	1	誠実、公平かつ責任感を持って子供に接し、子供から学び、共に成長しようとする意識を持って、指導に当たることができる。
		2	教育に関する基礎知識を有し、教職や学校教育の責務を理解している。
		3	自己の課題を認識し、その解決に向けて、自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢を持っている。
		4	生徒理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を有し、子供の成長や安全、健康管理に常に配慮して、具体的な教育活動を組み立てることができる。
2 社会性や対人関係能力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員としての職責や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることができる。</li> <li>・組織の一員としての自覚を持ち、他の教職員と協力して職務を遂行することができる。</li> <li>・保護者や地域の関係者と良好な人間関係を築くことができる。</li> </ul>	5	挨拶や服装、言葉遣い、他の教職員への対応、保護者に対する接し方など、社会人としての基本が身に付いている。
		6	他の教職員の意見やアドバイスに耳を傾けるとともに、理解や協力を得ながら、自らの職務を遂行することができる。
		7	学校組織の一員として、独善的にならず、協調性や柔軟性を持って、校務の運営に当たることができる。
		8	保護者や地域の関係者の意見・要望に耳を傾けるとともに、連携・協力しながら、課題に対処することができる。
3 幼児・児童・生徒理解や学級経営に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供に対して公平かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。</li> <li>・子供の発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。</li> <li>・子供との間に信頼関係を築き、学級集団を把握して、規律ある学級経営を行うことができる。</li> </ul>	9	気軽に子供と顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができる。
		10	個々の生徒の特性や発達段階に応じた指導方法を理解し、適切に接することができる。また、公平で受容的な態度で生徒に接することができる。
		11	学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができる。
		12	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を有し、学級経営案を作成することができる。
4 教科・保育内容等の指導力に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の内容を理解しているなど、学習指導の基本的事項（教科等の知識や技能な</li> </ul>	13	【中学校】学習指導要領の理解に基づく教育課程・学習指導法の知識を有し、教材や資料を分析・作成することができる。

<p>ど) を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書、話し方、表情など授業を行う上での基本的な表現力を身に付けている。</li> <li>・子供の反応や学習の定着状況に応じて、授業計画や学習形態等を工夫することができる。</li> </ul>	14	【中学校】教科書の内容を充分理解し、教材研究を活かした教科の授業を構想して学習指導案にまとめることができる。
	15	【中学校】板書や発問、的確な話し方など基本的な授業技術を身に付けるとともに、生徒の反応を生かしながら、集中力を保った授業を行うことができる。
	16	【中学校】基礎的な知識や技能について反復して教えたり、板書や資料の提示を分かりやすくするなど、基礎学力の定着を図る指導法を工夫することができる。
	17	道徳教育・特別活動・「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得し、授業計画や学習携帯を工夫することができる。
	18	情報教育機器の活用に関する基礎理論・知識を習得し、実際の授業に活用することができる。